- 1 調査対象大学等の概要等
- (1) 設置者

国立大学法人群馬大学

- (2) 大 学 名 群馬**大**学
- (3) 大学の位置

〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 - ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設 置 時	変更状況	備考
学長	(ヒラツカ ヒロシ) 平 塚 浩 士 (平成27年4月)		
学 部 長	(トミヤマ ヨシノリ) 富 山 慶 典 (平成27年4月)	(カキモト トシカツ) 柿 本 敏 克 (平成29年4月)	任期満了(29)
学科長 (社会情報学科)	(タカヤマ トシヒロ) 高 山 利 弘 (平成28年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を ()書きで記入してください。
 - (例) 平成27年度に報告済の内容 → (27) 平成29年度に報告する内容 → (29)
 - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 - ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 - ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称,定員,入学者の状況等

- (注) · 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 - ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位 (大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表 を追加してください。
 - ・ 様式は、平成26年度開設の4年制の学科の場合(平成29年度までの4年間)ですが、開設年度・ 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合 には、欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の	学位又は学科		設 置 時	の計画		備考
名称 (学位)	の分野	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	1
	社会学・社会 福祉学関係	年 4	100	年次 人 3年次 20人	人 440	
	法学関係 経済学関係	7	100	04次 20八	440	

- (注)・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 - ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 - ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号 (その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平均入学定員	備考
区分	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	春季入学 その他の学期	超 過 率	V⊞ ~⊃
	人 - 人	人 - 人	人 - 人 100	人 - 人 100		
A 入学定員	(-)	(-)	(-)	(-)		
志願者数			385	442		
10/11/21	$\begin{bmatrix} - \end{bmatrix} \begin{bmatrix} - \end{bmatrix}$	(-1)(-1)	[5] [—]	[4] [-]		
平吃老米			269	332		
受験者数			$\begin{bmatrix} (-) & (-) \\ [3] & [-] \end{bmatrix}$	$\begin{bmatrix} (-) \\ (-) \end{bmatrix}$	1.04倍	
			123	116		
合格者数	(-) (-)	(-) (-)	(-) (-)	(-) (-)		
	[-] [-]	[-] [-]	[-] [-]	[-] [-]		
			100	109		
B 入学者数						
入学定員超過率 B/A	-	_	1	1. 09		

- (注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ ()内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について<u>内数で</u>記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程) 及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を 記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、<u>各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出</u>してください。なお、計算の際は<u>小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入</u>してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。 なお、<u>計算の際は「入学定員超過率」と同様</u>にしてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

	対象年度	平成2	6年度	平成2	7 年度	平成2	8年度	平成 2	9年度	備	考
学	年	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	1)用	75
		_	_	_	_	100	_	109	_		
	1 年次	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
		(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	_	_		
				_	_	_	_	99	_		
	2 年次			[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
				(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
						_	_	_	_		
	3年次					[-]	[-]	[-]	[-]		
		_				(-)	(-)	(-)	(-)		
								_	_		
	4 年次							[-]	[-]		
								(-)	(-)		
	=1	-	-	-	-	10	00	2	08		
	計	[_]	L .	_]		-]	L	_		
		(—)	(.	—)	(-)	(—)		

- (注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - []内には、留学生の状況について<u>内数で</u>記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。),短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「一」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「一」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分	入学者数(b)	退学者数(a)	退学	学者数(内訳))	主な退学理由	入学者数に 対する退学者数
対象年度	7 1 1 32 (2)		退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数	1.66	の割合 (a/b)
			平成26年度	人	人		
平成26年度	人	人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
入学者			平成28年度	人	人		#DIV/ 0: 90
			平成29年度	人	X		
			平成27年度	人人	人		
平成27年度 入学者	人	0 1	平成28年度	人	人		#DIV/0! %
			平成29年度	人	人		
平成28年度	100 人	1 人	平成28年度	1 人	0 人	進路変更	1.00 %
入学者 	100)(1 7	平成29年度	0 人	0 人		1.00 70
平成29年度 入学者	109 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
合 計	209 人	1人					0.47 %

- (注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。<u>(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要は</u>ありません。)
 - ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」) により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための 準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
 - 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、 【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職・学生個人の心身に関する事情・家庭の事情・除籍・その他

2 授業科目の概要

<社会情報学部学部 社会情報学科>

(1) 授業科目表

	科目		配当		単位数	t		専任教	数員等	の配置			/ ±	±-
	区分	授業科目の名称 	H 14	必修	選択	自曲	教 授	准教授	講師	b 教	助手		備	考
		学びのリテラシー(1)	1前		2		2 4	1						担当教員の都合により 2名(教授)減員 1名(准 教授)追加(28)
							3					49		担当教員の都合により 1名(教授)減員 1名 (兼)減員(29)
							4	2				50	·	担当教員の都合により 1名(教授)追加 1名 (准教授)減員 4名(兼)
	教	学びのリテラシー(2)	1後		2		3	3				兼 46		追加(28)
	教養基盤科目							2 1				5		担当教員1名(准教授) 追加(29) 担当教員の都合により
	目目	英語	1・2 前・後		1		1	2				兼4		1名(准教授)減員 1名 (兼)追加(28)
		スポーツ・健康	1前・後		3							13 兼 11	※実習	2名(兼)追加(29)
		情報	1前		2		2							
							1	1						担当教員の都合により 1名(准教授)減員(29) 担当教員の都合により 1名(教授)減員 1名(准
全		就業力	1前		2		2							教授)追加(28)
全学共通科目		人文科学科目群	1·2·3·4 前·後		2		2					16 兼 12		教育課程充実のため教 員を追加(28)
目							2					8		3名(兼)減員(29)
		社会科学科目群	前•後		2		3	3				兼 11		担当教員の都合により 1名減員(28)
												12		担当教員の都合により 1名(准教授)減員 12名 (兼)減員(29)
	教養育成	自然科学科目群	1 · 2 · 3 · 4		2		1 2	1				24 兼 13		担当教員の都合により 1名(教授)減員 11名 (兼)追加(28)
	成 成 科 目		前・後									25	,	7名(兼)追加(29)
		健康科学科目群	1·2·3·4 前•後		2							18 兼 17		教育課程充実のため担 当教員を1名追加(28)
		外国語教養科目群	1·2·3·4 前 ・ 後		1			1				16 14 兼 11		2名(兼)追加(29) 教育課程充実のため担 当教員を3名追加(28)
		総合科目群	1·2·3·4 前•後		2		1	1				33 29 兼 16		<mark>4名 (兼) 追加 (29)</mark> 教育課程充実のため教 員を13名追加 (28)
	科入目門	社会情報学基礎論 情報社会基礎論	1 前 1 後	2 2			2	1	1 1				オムニノ	バス
	У	情報メディア基礎論	1後	2					1					
	ディア	マスメディア論	2前	2				1	1					
I	I ¬ [ソーシャルメディア論	2後	2	1	1	1		1	1	J	l	l	l

<u> </u>	<i>F</i>	社会学的コミュニケーション基礎論	1後	<u> </u>	2	1	1		Π	l		1	I	
ア 科 目	ケーショー	心理学的コミュニケーション基礎論	1後		2		1							
	ヺュ	異文化コミュニケーション基礎論	2 前		2							兼1		
	<u> </u>	マス・コミュニケーション基礎論	2後	0	2			1						
	情 報	情報と職業 情報社会と人権	2前 2後	2 2				1 1						
	科 目	情報倫理	2後	2				1				兼1		
												7,,,,		
								1						担当教員1名(准教授)
														追加 1名(兼)減員(2
		TT -	1 1	0					1			¥ - 1	*/)	担当教員が平成28年 月1日付で採用予定の
	研	研究方法基礎論	1 前	2					1			兼1	※演習	ため、着任までの間兼任教員にて対応(2)
	究方	研究方法A(事例研究法)	1後		2			1					※演習	N 12 1X 361 - 6 7 1 10 (2
	法科	研究方法B(文献研究法)	2 前		2		2						※演習	선사자들 1호 /개화전
	目群	研究方法C(サーベイ・アンケート研究法)	1後		2			1	1				※演習	担当教員1名(准教授追加 1名(講師)減員
		研究方法D(実験研究法)	2前		2		1						※演習	(29)
		研究方法E(オペレーションズ・リサーチ) 基礎数学A	2 前 1 前		2 ※ 2		1					* 1	※演習	ずれか2単位必修
		基礎数学B	1前		* 2 * 2							兼1 兼1	XA, DU	9 化か2年世必修
		データ解析基礎 (統計学)	1後	2				1	1				※演習	担当教員1名(准教授追加 1名(講師)減員
	デ ー	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,						1	1					(29)
	タ 解													担当教員1名(准教授)
	解析													追加 1名(講師)減員 (29)
	科 目 群	データ解析A(応用統計学)	2 前		☆2			1	1				☆いずれ: 	か1科目2単位必修
	仲	データ解析B(多変量解析)	2後		☆2			1				兼1	※演習	担当教員1名(教授)追加 1名(兼)減員(29)
		データ解析C (回帰分析)	2後		☆2			1				7,11	※演習	加 1名(兼)減貝(29)
		データ解析D(データマイニング) 情報処理基礎	2後 1後	2	☆2		1	1			1	-	※演習 ※実習	
IJ		旧私处在坐处	1 1/2	2			1				1		~ 天日	
ال							2							1名准教授から教授に 昇任(29)
チス								_				27	\ 77	学生に分かりやすく るため授業科目名称
キル		プログラミング I	1後	2			1	1			1	兼1	※実習	変更 1 → I (28)
科目														, ,
		情報の数理	2 前	2			1	1					※実習	担当教員の都合によ 1名(教授)減員(29)
		kt +n +t an +	0 34	0			,					}/- -	*/ ch 11	学生に分かりやすく るため授業科目名称
		情報基盤I	2 前	2			1					兼1	※実習	変更 1 → I (28)
	情 報													1 1 (20)
	処 理	記号論理学	2前		2		1					兼1	※実習	担当教員の都合によ 1名(教授)減員 1名
	スキ													(兼)追加(29)
	・ ル 科													1名准教授から教授に
	目群	プログラミングⅡ	2前		2		1	1					∨ ⇔ 33	<mark>昇任(29)</mark> 学生に分かりやすく
	仲	プログラミングロ	2 則		2		1	1					※実習	るため授業科目名称 変更
		データ構造とアルゴリズム	2後		2			1					∨ ⇔ 33	$2 \rightarrow II$ (28)
) 一ヶ 構造と / ルコリスム	2 仮		2			1					※実習	
		データベース	2後		2		1	1					※実習	1名准教授から教授に 昇任(29)
		コンピュータシステム	3 前		2		1						※実習	尚たにハかりやま た
		情報基盤Ⅱ	3 前		2		1					兼1	※実習	学生に分かりやすく るため授業科目名称
												7114 =		変更 2→Ⅱ (28)
		情報セキュリティ	3後		2		1	1					※実習	担当教員の都合によ
dash		専門外国語 I -A (ディスカッション・ディベート)	2前	<u> </u>	2				<u> </u>			兼 1	※演習	1名(准教授)減員(29)
		専門外国語 I-B(ライティング)	2 前		2							兼 1	※演習	
	41	専門外国語 I-C (リスニング) 専門外国語 I-D (ビジネス・イングリッシュ)	2 前 2 前		2 2							兼1 兼1	※演習 ※演習	
	外 国	専門外国語 I -E (TOEIC/TOEFL)	2 前		2							兼 1	※演習	
_	語 コ	集中英語 専門外国語 Ⅱ -A(原書講読)	1後 2後		2 2		1					兼1	※演習 ※演習	
<u>=</u>	<i>II</i> 1	専門外国語Ⅱ-B(原書講読)	2後		2			1					※演習	
ニ ケー	ニ ケ	専門外国語Ⅱ-C(原書講読) 専門外国語Ⅱ-D(原書講読)	2後 2後		2 2			1				兼1	※演習 ※演習	
ΙÍ	ĺ	専門外国語Ⅱ-E(原書講読)	2後		2							兼 1	※演習 ※演習	

<u>シ</u>	ショ		l I		ĺ	ĺ		·			·	1	
ョンフ	ョ ン 科		1 • 2 • 3 • 4										担当教員1名(教授) 2
スキル	目		前・後										名 (准教授) 追加 1名 (兼) 減員(29)
科目		専門英語短期派遣	2後		2		1	2			兼1	※演習	履修の選択肢を増やす ため配当年次を拡大
	 表	プレゼンテーション	3 前		2			1				※演習	(28)
	ⅎℷ現	論理的日本語表現 非言語コミュニケーション	2後 3前		2 2		2				** : 1	※演習	
		非言語コミューケーション イラストレーションデザイン	3 削 2 後	ļ	2						兼1 兼1	※演習 ※演習	
	ル	動画・音声編集	3 前		2						兼 1	※演習	
				ļ									担当教員1名(准教授) 追加(29)
		社会情報学プロジェクトAー I	2後	ļ	2		1	1				 ₩PBL	学生に分かりやすくす るため授業科目名称を
				ļ									変更
プ													$1 \to I \qquad (28)$
フ ロ ジ	科												担当教員の都合により
エ	目 A						1						1名(教授) 1名(准教 授)減員(29)
クト				ļ									学生に分かりやすくす るため授業科目名称を
科目		社会情報学プロジェクトA一Ⅱ	2後	ļ	2		2	1				 ₩PBL	変更
													2→Ⅱ (28) 学生に分かりやすくす
		社会情報学プロジェクトAーⅢ	2後		2			1				 ₩PBL	るため授業科目名称を変更
													3 → Ⅲ (28)
		社会情報学プロジェクトB	3 前		2		2	1				 ₩PBL	担当教員の都合により 2名(教授)減員(29)
		社会学的コミュニケーション論 心理学的コミュニケーション論	2後 2前	ļ	2 2		1 1						
	1	異文化コミュニケーション論	3後	ļ	2		1				兼1		
亩	٢	現代文化とメディア	3前	ļ	2			1					
専門		身体メディア論 言語メディア論A	3後 3前	ļ	2 2		1						
科目デ	-	憲法Ⅰ	2前		2			1					
ーレ	マケ	情報法Ⅰ 政府情報システム論	2前 2後	ļ	2			1				※演習	
クシ	<u> </u>	行政法Ⅰ	2前	ļ	2		1	1				小灰日	
3	律	政策情報論	2後	ļ	2			1			}/- •		
科		情報政治学 会計学 I	2後 2後		2			1			兼1	※演習	
目		現代経済入門	2前	ļ	2			1					
	済	経済情報論 経営学 I	2前 2前	ļ	2 2			1 1					
	経	経営科学I	2前		2		1	1				※実習	
	営	経営情報論 I	2 前		2		1				兼 1		担当教員の都合により 1名(教授)減員 1名
<u> </u>		社会心理学	3 前		2) C		(兼)追加(29)
		社会倫理 [3前		2		1 1						
		社会倫理Ⅱ	3後	ļ	2		1						
		地域社会生活論 Ⅰ 地域社会生活論 Ⅱ	2前 2後	ļ	2 2		1 1						
		理論社会学 I	2前	ļ	2		1					, , , , ,	
		理論社会学 Ⅱ 意思決定科学	2後 2前	ļ	2 2		1 1					沙海羽	
		集合的選択論	2 後	ļ	2		1					※演習 ※演習	
	170	環境アセスメント	3前		2		2					I	
	7111	環境アセスメント実習Ⅰ 環境アセスメント実習Ⅱ	3前 3後		1 1		2 2						
	1_45	環境科学演習	2前		1		2				兼1		
		環境政策	3後		2		3	1			共: 1	>> /字 33	担当教員の都合により
		垜 児以 农	3 仮		2		3	1			兼 1	※演習	1名(准教授)減員 1名 (兼)追加(29)
		環境政策実習	3後		1		2				24		
		自然環境論 人間環境論	2 前 3 前		2 2		1				兼1		
											3/- -		担当教員の都合により
		生物環境論	2後		2	L	1				兼1		1名(教授)減員 1名 (兼)追加(29)
		言語メディア論B	3後		2		1						
	メレ 化デク	言語学的コミュニケーション論I	2 前		2			1					
	~ / >	言語学的コミュニケーション論Ⅱ	3 前		2			1					
	i .	地域メディア論	3 前		2		1					 ₩PBL	
		環境法I	3前		2		1						
		環境法Ⅱ	3後	ļ	2		1		Ī				
		企業法	3 前	1	2						兼1		

1 .	【経済法·知的財産法 I	2後	İ	2	ı	i	l 1	i	1 1	ı	I
ディ	経済法·知的財産法Ⅱ 経済法·知的財産法Ⅱ	3前		2			1				
自りなっ	憲法Ⅱ	2後		2			1				
由丨〔	公共政策論	2 前		2			1				
選して	公法ケース・スタディ(事例・判例研究)	3後		1		1	1				※演習 担当教員の都合に 1名(教授)減員(29
科し領	行政学Ⅰ	2 前		2			1				
现	行政学Ⅱ	2後		2			1				
公公	行政法Ⅱ 情報社会と私法	2後 3前		2 2		1 1					
務 と	情報法Ⅱ	2後		2		1	1				
法	政策分析	2後		2			1				
律	地方自治A(伝統と改革)	3前		2			1				
	地方自治B(研究と事例) 民法 I	3 前 2 前		2 2		1	1				
	民法Ⅱ	2後		2		1					
	民法皿	3前		2		1					W.DDI
	民法IV マクロ経済学	3後 2後		2		1				兼 1	※PBL
	ミクロ経済学	2後		2						兼1	
		3									
	会計学Ⅱ	2 後		2			1				教育効果を高めるため 変更 (29)
ディ	金融論	2後		2			1			兼 1	
レ	経営科学Ⅱ	2後		2		1					※実習
クシ		3									
ョン	经常带工										教育効果を高めるため 変更 (29) ※PBL
領	経営学Ⅱ	2 前		2			1				X:YBL
域											教育効果を高めるため
経 済		3									変更(29)
ع											担当教員の都合に
経営	経営情報論Ⅱ	2 前		2		1				兼1	1名(教授)減員 14 (兼)追加(29)
	経営戦略論	2 前		2		1					※演習
	経営組織論	3前		2			1				※演習
	国際経営論	2後		2		1				兼 1	担当教員の都合に 1名(教授)減員 1名
	生活経済政策	2後		2			1			>11C ±	(兼)追加(29)
	工力性角以來	1後~4後		<u> </u>			1				履修の選択肢を増
	社会に学ぶ	1後~3後		2		1					ため配当年次を拡 (28)
											0 5 (34) 14 (- (00)
											2名(兼)追加(29) 履修の選択肢を増
+		0 24 44								** 0	ため配当年次を拡
ヤ	仕事の現場を知るA(現代金融システム論)	2前・後 2前		2		1				兼 9 兼 7	(28) オムニバス
リア	2, 10, 30, 30, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 10, 1	2 133				1				NK 1	7 4 - 7 7
教											担当教員1名(教授 加(29)
, 教 育 科											復修の選択肢を増
目		2前・後				2					ため配当年次を拡 (28)
	仕事の現場を知るB(マスコミ論)	2後		2		1				兼3	オムニバス
		2前・後									履修の選択肢を増 ため配当年次を拡
	東京の取組を行えるがためること			0						2/- -	(28)
	仕事との現場を知るC(情報通信ネットワーク)	2前		2	-	1		-		兼1	オムニバス 履修の選択肢を
		1後~4後									すため配当年次
	社会情報学特別講義A	2前∼3後		2						兼 1	大(28)
		1前~4後									履修の選択肢を
特 別	社会情報学特別講義B	2前~3後		2						兼1	すため配当年次 大(28)
講		1前~4後									履修の選択肢を
議 科 目	分。体积学性则建美0			0						2/- -	すため配当年次
目	社会情報学特別講義C	2前~3後		2						兼1	大(28)
		1前~4後									履修の選択肢を すため配当年次
	社会情報学特別講義D	2前~3後		2						兼1	大(28)
]		13]			担当教員3名(准教
社会情報学	ゼミ	3 通	4			14	10	2			担当教員3石(准教 追加(29)
				Ī	1		13	1			担当教員3名(准教
卒業研究							10	2			和亚勒昌1207年至

- (注)・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置時の授業科目全て(兼任, 兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

	設	置	時	の	計	画			変	-	更	状	2	兄	備	考
必	修		選	択	自	由	計	必	修	選	択	自	由	計	1)H	行
		科目		科目		科目	科目		科目		科目	;	科目	科目		
		16		135			151		16		135			151		
									[0]		[0]	[0]	[0]		

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を 記入してください。(記入例:1科目減の場合:△1)

・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目〈該当なし〉

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となって いる授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目〈該当なし〉

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由,代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- (5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし		

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び 「学生への周知方法」を記入してください。
- (6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目(3)と廃止科目(4)の計	_	0	_	0 %
設置時の計画の授業科目数の計(A)	_	151	_	0 96

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
 - ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように 留意してください。

3 施設・設備の整備状況,経費

	区		分					内				3	 容				備考
(1)		区	分			専	用	共	用		共用する 学校等の			言	†		
++		校翁	校舎敷地 378,325		378, 325m²		0m²		0m²		m		378	3, 325 m²			
校		運動場用地 9		93, 558m²			0m²		C	m		93	3, 558 m	8, 090M			
地	小 計		-			471, 883m²			0m²		C	m		471, 883 m²		借用期間: 1年更新	
等		そ	の他	ļ			160, 151 m²			0m²		C	m		160), 151 m [‡]	
		合	計	-			632, 034m²			0m²			m		632	2, 034m ⁸	
						専	用	共	用		共用する 学校等 <i>の</i>			Ē-	+		借用面積:
(2) 校			舎				169, 929m²			0m²		C	m		169), 929 m	旧用州间·
						(169, 9	29m²)	(0m²)	(0 m ²)	((169, 9	929m	ຳ)	1年更新
				講	義	室	演	图 室	実験!	実習室	情報	処理学習	施設	語学	学習加	施設	
(3) 教	室		等			90室	<u> </u>	29室		952室	2		6室			2室	大学全体
											(補貝			補助贈	哉員	1人)	
(4) 専	(4) 専任教員研究室						部等の名称			室 数		数					
							会情報学部社会情報学科					29)	<u> </u>		室	
(=)	新設学部等 の名称		☆=5. ⇔ ☆			書		所雑誌 			視聴	│ ・視聴覚資料 │ <i>桃</i>		具	標本		
(5)			の名称				[うち外国書] 電子ジャ								_	学部単位での特定	
				220 64	٥ (٥)	4502		種		外国書〕 		点 0.040		点			不能なため, キャンパス全体の数
図 書 •	社	会情報						65	(0)								
· 設 備				330, 64			8, 405 [(65)	65		0)	-
l/Ħ		計			347 (5:			(1, 169)		[5, 273])	(2	2, 640 629)	(65)	03	(0)	
				(023,	面	J, 230)	1 (0, 000)	1, 100)		·····································	(Ζ,	収		能	m		
(6) 図		書	館				9, 75	0m²) Jul 3-E 1		388席		443	110			大学全体
				面		 積			体育館以			設の概要			., ,	7.7.411	
(7) 体		育	館					3m 野球場	· 12面,陸上第					テニス	スコー	- ト12面	大学全体
			Σ	<u> </u>	分		開設年度	完成年月	隻 区	分	開設す	前年度	開設年度	隻	完成	た年度	
(8)			教員 1	人当り	研究費	貴等	千円	7	千円 図書	講入費		千円	7	f円		千円	
経費の 積り及		積り	共 同	研 3	究 費	等	千円	7	千円 設備	講購入費		千円	7	f円		千円	
維持方の概	i 法 要	学生 ๋		第	1 年次	\top	第2年次	第	 3 年次	第 4 :	年次	第:	5 年次	第	第6年	手次]
ואינו		納付	J 寸金		=	千円	=	f円	千円		千円		千円			千円]
	学生納付金以外の維持方法の概要]										

- (注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、 複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の 項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
 - ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その 理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」 を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	群	馬大	学						備考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 員	編入学定 員	収 容定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所 在 地	
	年	人	年次	人		倍			
			人						
教育学部					出土				
学校教育教員養成課程	4	220	_	880	学士(教育学)	1. 03	平成11年度	群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地	
// A O 社会学如 梦》									
≪AC対象学部等≫									
社会情報学部			3年次		学士				ר
情報行動学科	4	-	3年次	_	学士	_	平成18年度	同上	│ │ 平成28年より │ 学生募集停止
情報社会科学科	4	_	3年次	_	(社会情報学)	_	平成18年度	同上	
社会情報学科	4	100	20	200	学士	1. 04	平成28年度	同上	
医学部	•	400	2年次	700	学士				
医学科	6	108	15	723	(医学)	1. 00	昭和24年度	群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号	
保健学科	4	160	3年次 10	660	学士 (看護学) (保健学)	1. 00	平成8年度	同上	
工学部									
(昼間コース)									
応用化学・生物化学科	4	_	-	-	学士 ^(工学)	-	平成19年度	群馬県桐生市天神町一丁目5番1号	
機械システム工学科	4	_	-	_	学士 ^(工学)	-	平成1年度	同上	
生産システム工学科	4	_	-	-	学士 ^(工学)	-	平成19年度	同上	
環境プロセス工学科	4	_	-	_	学士 ^(工学)	-	平成19年度	同上	 - 平成25年より
社会環境デザイン工学科	4	_	-	_	学士 ^(工学)	-	平成19年度	同上	学生募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士 ^(工学)	-	平成1年度	同上	
情報工学科	4	_	-	-	学士 ^(工学)	-	平成1年度	同上	
(夜間主コース)									
生産システム工学科	4	-	-	-	学士 ^(工学)	-	平成19年度	同上	
理工学部									
(昼間コース)									

I	l <u>.</u> l			l	学士	1	I		
化学・生物化学科	4	160	-	640	(理工学)	1. 03	平成25年度	同上	
機械知能システム理工学科	4	110	-	440	学士	1. 08	平成25年度	同上	
環境創生理工学科	4	90	_	360	学士	1. 05	平成25年度	同上	
電子情報理工学科	4	120	-	480	学士 (理工学)	1. 08	平成25年度	同上	
学科共通	2	-	3年次 30	60	学士 (理工学)	-	平成25年度	同上	
(夜間主コース)									
総合理工学科	4	30	_	120	学士	1. 05	平成25年度	同上	
教育学研究科									
〈修士課程〉									
障害児教育専攻	2	3	_	6	修士	0. 99	平成18年度	群馬県前橋市荒牧町四丁目2番地	
教科教育実践専攻	2	20	_	40	修士	1. 22	平成20年度	同上	
〈専門職学位課程〉									
教職リーダー専攻	2	16	_	32	教職修士	0. 99	平成20年度	同上	
社会情報学研究科									
〈修士課程〉									
社会情報学専攻	2	14	_	28	修士	0. 64	平成10年度	同上	
					(IAIAA IPTA 17				
医学系研究科									
〈修士課程〉									
生命医科学専攻	2	15	_	30	修士	0. 79	平成19年度	群馬県前橋市昭和町三丁目39番22号	
〈博士課程〉					(工即区14子)				
医科学専攻	4	57	_	228	博士	0. 98	平成15年度	同上	
					(區子)				
保健学研究科									
〈博士前期課程〉									
保健学専攻	2	50	_	100	修士	1. 00	平成23年度	同上	
〈博士後期課程〉					(水)性子/				
保健学専攻	3	10	_	30	修士(保健学)	1. 10	平成23年度	同上	
					(体健子)				
工学研究科									
〈博士後期課程〉									T # 05 / L ! !
工学専攻	3	_	_	_	博士	_	平成19年度	群馬県桐生市天神町一丁目5番1号	_ 平成25年より 学生募集停止
	ı ĭ				(工学)		l		J I

理工学府										
〈博士前期課程〉										
理工学専攻	2	300	-	600	修士	1. 10	平成25年度	同上		
〈博士後期課程〉										
理工学専攻	3	39	-	117	修士 (理工学)	0. 61	平成25年度	同上		
(注意)課程認定 ください。(履修	-				— .			専攻・コース別にも記 下要です。)	入して	
(注意)学生募集								•平均入学定員超過	率は	
 大学の名称	0	〇 短	期大	学						考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学定 員	編入学	収 容	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設年 度	所 在 地		
	年	人	年次人	人		倍				
●●学科	2	100	_	200	短期大学士 (●●学)	1. 00	平成3年度	〇〇県〇〇市〇〇〇〇		

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、 マが、「スケルでは、アイルの子のでは、「スケット」である。 できない。 マルマルの子を使っている。 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。 ※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている。
 - - 場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上 の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。 ・AC対象学部等についても必ず記入してください。

 - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の 平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合、<u>入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし、</u> 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等く該当なし>

区 分	留意事項	等	履行状況	未履行事項について の実施計画
設置時(〇〇年〇〇月)		〇〇意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)		是正意見		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)		改善意見		
	・同一設置者が設置する既設学部等(〇〇学科、●●学科)の~すること。	〇〇意見		

- (注)・「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(<u>学校法人の</u> <u>寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。</u>)と、それに対する履行状況等 について、具体的に記入し、<u>報告年度を(</u>)書きで付記してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する 履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付 してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される<u>全ての報告書に</u> 記入してください。
 - 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - · 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<社会情報学部 社会情報学科>

(1) 設置計画変更事項等 〈該当なし〉

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注)・ 1~6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。) 及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 - ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については 適宜項目を設けてください。(記入例参照)
- (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)
- ① 実施体制
 - a 委員会の設置状況
 - 群馬大学社会情報学部評価委員会
 - b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 開催実績 2回(平成28年度実績)
 - c 委員会の審議事項等

本学部における教育研究水準の向上及び活性化を図るため、教育研究活動等に関する点検・評価及び群馬大学の職員以外の者による評価・検証を行い、もってその社会的責任を果たすことを目的とする。

- ② 実施状況
 - a 実施内容
 - ①学生との懇談会
 - ②社会情報学部 F D 講習会 (障害のある学生への対応について)
 - ③ベストティーチャー賞優秀賞受賞者等による公開授業
 - ④授業評価アンケートの教授会での公表
 - b 実施方法
 - ・標記評価委員会等を中心に、アンケート、懇談会等を実施し、学生等の意見を聴取した。
 - c 開催状況(教員の参加状況含む)
 - ①1回(参加者 大学側:7人 学生側:10人)
 - ②1回(参加者 22人)
 - ③3回(参加者 のべ15人)
 - ④2回(参加者 のべ53人)
 - d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
 - ・FD及び懇談会結果・アンケート実施結果を、授業改善の参考資料とした。
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
 - a 実施の有無及び実施時期
 - ・前期及び後期の学期末に実施した。
 - b 教員や学生への公開状況, 方法等
 - ・教員 アンケート結果について教授会にて周知
 - ・学生 学内掲示板に掲示して周知
- (注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

1	設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
	・設置の趣旨・目的の達成状況については、社会情報学部担当の各教員が講義、演習、実習等を平成28年4月より 実施しており、当初設定のカリキュラムどおりに履行されている。
2	自己点検・評価報告書
á	a 公表(予定)時期

- - ・中期計画・年度計画に基づく自己点検・評価を年2回(中間・最終)実施し、全学委員会の大学評価室に

また、自己点検・評価を大学評価室で実施。

- b 公表方法
 - ・大学評価室のウェブサイトにて公開。
- ③ 認証評価を受ける計画
 - ・平成27年度に評価機関(大学評価・学位授与機構)の評価を受審。
- (注)・ 設置時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を 含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書につ いて記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

〇 設置計画履行状況報告書				
a ホームページに公表の有無	(有)		無)
b 公表時期(未公表の場合は予定時期)	(平成28年	6月 1	日)	